

保存版

遠軽町

防災

ガイドマップ

Engaru Town Disaster Prevention Guidemap

令和4年1月改訂



▼はじめに読みましょう! 防災ガイドマップの使い方

この防災ガイドマップには、避難所や想定される危険区域、各種災害への備え方などを掲載しています。ご家族皆さんで話し合うなど、防災対策にお役立てください。

- 避難所の確認
- 避難方法や集合場所の確認
- 非常持出品の準備



命を守るために取り組むこと

「自分から」「できることから」対策を

大規模災害が起こった場合、行政が全ての被災者をすぐに支援することが困難な場合があります。そのため、住民一人ひとりの自発的な避難行動や地域コミュニティの助け合いがとても重要となります。

一人ひとりの取り組みこそ大切

災害の被害を軽減するためには、「自助・共助・公助」の取り組みが不可欠です。この3つの連携が円滑なほど、被害は軽減できます。その中でも基本となるのは「自助」。まず、自分の身を守ることが最も重要です。

自助

一人ひとりが自分の身の安全を守る

- 非常持出品・備蓄品の準備
- 避難所・避難経路の確認
- 屋内・屋外の点検・補強
- 自主的な避難 など



- 自主防災組織による防災の取り組み など



減災



- 公的機関による救援・救出、復旧活動 など

地域や身近にいる人同士が助け合う

共助

国や地方公共団体などの取組

公助

自主防災組織を結成し、地域で地域を守る取り組みを!

自主防災組織は、「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚や連帯感に基づき、災害による被害の予防・軽減のための活動を行う組織です。

平常時の活動例

- 防災知識の普及
- 災害危険箇所の把握
- 防災訓練の実施
- 防災用資機材などの点検 など

災害時の活動例

- 情報収集・伝達
- 初期消火、救出・救護
- 住民の避難誘導
- 生活物資の配給 など

避難は助け合いながら

目の不自由な方

安全な場所まで誘導する。



耳の不自由な方

メモなどで正確な情報を伝える。



肢体の不自由な方

介助は2人で行う。声をかけ安心するようにする。



高齢者の方

声をかけ、避難場所などへ案内する。



避難所の種類

「指定緊急避難場所」は、住民が集合し、一時的に避難する場所です。

「指定避難所」は、避難してきた住民を収容する施設です。

「福祉避難所」は、一般の避難所での生活が困難な要配慮者を受け入れる施設です。

安全に避難するために

「避難」とは、災害から命を守るための行動です。避難所への避難だけでなく、家屋内にとどまり安全を確保することも「避難」の一つです。状況によって判断しましょう。

町などからの避難情報

災害が発生するおそれがあるときに町などから避難情報が発令されます。

(こんな方法等でお知らせします)

- 防災情報メール



- 広報車



- 伝達員



- テレビ・ラジオ



避難時の服装



非常時の持ち物を準備

非常持出品

避難するときに必要なものをリュックサックに詰めておき、いつでもすぐに持ち出せるようにしましょう。

非常持出品(例)	点検日
非常食3日分程度(乾パン・缶詰・栄養補助食品・チョコレートなど)	/
飲料水3日分	/
貴重品(預金通帳、印鑑、保険証、免許証など)	/
懐中電灯、携帯ラジオ、予備の乾電池	/
ヘルメット、防災ずきん	/
厚手の手袋、毛布	/
缶切り、ライター、マッチ、ナイフ	/
生理用品、携帯トイレ	/
救急箱(絆創膏、消毒液、包帯、常備薬、お薬手帳など)	/
下着、靴下	/
長袖、長ズボン	/
防寒用ジャケット、雨具	/
感染症対策用品(マスク、消毒用アルコール、体温計など)	/

備蓄品

災害直後から数日間、自足するためのものです。

備蓄品(例)	点検日
レトルト食品(ごはん、おかゆなど)、アルファ米	/
インスタントラーメン、カップみそ汁	/
飲料水(1人1日3ℓ)	/
生活用水(給水用ポリタンク、お風呂などにためる)	/
紙皿、紙コップ、割り箸	/
カセットコンロ、ランタン	/
ラップフィルム ※お皿に敷くと洗う必要がない	/
ティッシュペーパー、ウェットティッシュ	/
簡易トイレ、水のいらぬシャンプー	/
ビニール袋 ※雨具、敷物、簡易トイレとしても使用可能	/
ロープ、工具セット ※救助活動用	/
ほうき、ちりとり ※瓦礫などの除去用	/
長靴 ※瓦礫などからの保護用	/

記入しましょう!

遠軽町の防災情報

町では地域の自主防災活動を支援しています。組織結成などのご要望や防災研修会などを希望される場合、総務部危機対策室までお問い合わせください。

風水害

災害別の対応を身につける

近年、全国各地で台風や集中豪雨などによる洪水や土砂災害が発生しています。集中豪雨や暴風雪などによる災害はいつ起こってもおかしくありません。遠軽町でも過去幾度も大雨による被害を受けており、注意が必要です。

被害を減らす心得

▼チェックしましょう!

- ☑ 日頃から気象情報を見て、天候の変化に注意しましょう。
- ☑ 屋外と屋内の大雨・強風対策をしましょう。
- ☑ 避難指示などが発令されたときや、危険を感じたときはすぐに避難しましょう。
- ☑ 浸水時など状況によっては建物内に待機するほうが安全な場合もあります。状況により判断しましょう。

! 知る ~いざというとき、正しく判断するために

気象庁の注意報・警報

大雨や強風などにより災害が起こるおそれのあるときは「注意報」、重大な災害が起こるおそれのあるときは「警報」、重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは「特別警報」が発表されます。



災害の危険性

○土砂災害警戒区域（通称：イエローゾーン）とは

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域で、「危険の周知」、「警戒避難体制の整備」が行われます。

○土砂災害特別警戒区域（通称：レッドゾーン）とは

「土砂災害警戒区域」で土砂災害が発生した場合に建築物に破損が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が発生するおそれがあると認められる土地の区域で一定の開発行為の制限及び居室を有する建築物の構造の規制をすべき土地の区域のことです。

該当する凡例と地図上のレッドゾーンの実例

土砂災害警戒区域	土	石	流
特別警戒区域	が	け	崩
地すべり	地	す	べ



災害が起こりうる状況を把握しましょう。こうした状況に気がいたら周囲に知らせ、すぐ避難しましょう。

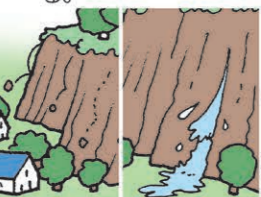
■土石流の前兆

- 山鳴りがする。
- 川が濁り流木が混ざる。
- 川の水位が下がる。



■がけ崩れの前兆

- がけ面から小石が落ち、裂け目ができる。
- がけから水がわき出る。



■地すべりの前兆

- 地面にひび割れや陥没ができる。
- 樹木が傾く。



■湧別川・生田原川の危険水位

	湧別川 (遠軽地域)	湧別川 (丸瀬布地域)	生田原川
はん濫危険水位	80.6m	180.54m	174.86m
避難判断水位	80.3m	180.25m	174.59m
はん濫注意水位	79.3m	178.07m	174.43m
水防団待機水位	78.9m	175.88m	174.06m

※参考：国土交通省 川の防災情報 <https://www.river.go.jp>

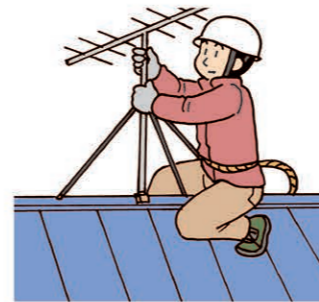
準備 ~被害をおさえるために

住まい周辺をチェックする

日頃から災害に備え、被害をおさえるためにできることをやっておきましょう。

■点検・補強

屋根、塀などの点検・補強をする。



■側溝の掃除

ゴミや土砂を取り、排水しやすくする。



■室内に撤去

風で飛ばされそうなものは室内へ。



■ガラスの飛散防止

窓が割れないようにフィルムを貼る。

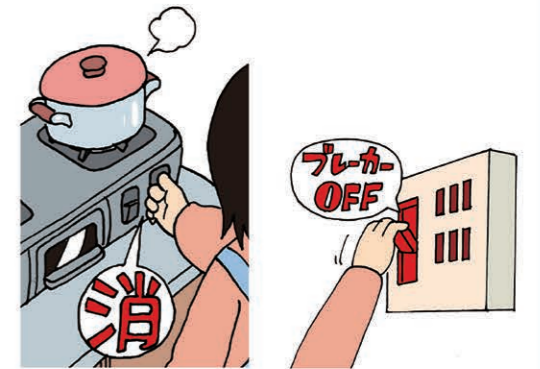


避難する ~安全を確保するために

避難前の注意

気象庁からの情報や町からの情報など、正しい情報に基づいて避難の判断をしましょう。

- 気象情報や町からの最新情報を入手する。
- 非常持出品を点検し、避難所を確認する。
- 避難所まで安全に避難できるルートを確認する。
- 避難前にはガスの元栓を締め、ブレーカーを落とす。



避難するときの注意

危険を感じたら自己判断で避難することも必要です。浸水や土砂災害が起こる前に、安全に避難するようにしましょう。

- 警報などが発表されなくても、危険を感じたら早めに避難する。
- 避難は複数人で、基本は徒歩で行う。
- 長靴での避難は避け、履きなれた靴で行う。
- 浸水しているときは、足元などを棒で注意しながら側溝や水路に注意する。
- 子どもはロープなどでつなぎ、はぐれないようにする。
- 浸水の状況によっては、頑丈な建物の2階以上へ避難する。
- 警報や注意報が解除されるまで、警戒を続ける。



遠軽町の防災情報

町では、各携帯電話会社が提供するサービスを活用して、災害・避難情報を配信しています。受信設定方法や対応機種などの詳細については各携帯電話会社にお問い合わせください。

雪害

暴風雪だけでなく、除雪作業にも危険があります。

被害を減らす心得 ▼チェックしましょう!

- ☑ 天気予報で「数年に1度の猛吹雪」「外出は控えて」などの言葉があれば暴風雪に警戒を。
- ☑ 暴風雪のときは外出しないことが最も安全です。普段から家の中で安全に過ごせる準備をしましょう。

! 知る ~いざというとき、正しく判断するために

雪の危険

暴風雪は、降っている雪と風で巻き上げられる雪で視界が真っ白になり大変危険です。どのような危険があるか十分に把握しておきましょう。

- 吹きだまりができ、車が発進できなくなることもある。
- 車や暖房機の排気口が雪で埋まると一酸化炭素中毒の危険がある。
- 暴風雪の中では雪で数m先も見えず歩行が困難。低体温症の危険も。
- 除雪作業中は屋根からの落雪、転落などの事故が多数発生。



🔧 備える ~被害をおさえるために

被害に遭わないための対策を

- 悪天候が予想される時は最新情報や道路情報などを十分に確認する。
- 停電に備え、懐中電灯、防寒具などの備蓄品を準備・点検しておく。
- 暴風雪が予想される時は無理をせず外出を避ける。
- やむを得ず車で外出するときは十分に備える。
- 車が立ち往生したときは、原則エンジンを止め、救助を求める。
- 車や家の排気口がふさがらないよう除雪を行い、換気に注意する。
- 家の除雪作業は2人以上で行い、命綱・携帯電話を身に付ける。
- 屋根からの落雪に十分注意する。

(車に備える備品)

車に備える備品(例)	点検日
防寒着、長靴、手袋、毛布など	/
スコップ、牽引ロープ、ブースターケーブル	/
飲料水、非常食など	/
十分な燃料	/
	/



(緊急時の連絡先)

● 道路緊急ダイヤル ☎ #9910

● JAF ロードサービス ☎ #8139

竜巻・雷

積乱雲の接近により、竜巻・雷が発生するおそれがあります。

被害を減らす心得 ▼チェックしましょう!

- ☑ 天気予報で「雷を伴う」「大気の状態が不安定」「竜巻などの激しい突風」などの言葉があれば、厳重に警戒を。
- ☑ 積乱雲が近づく兆しがある場合は、危険な場所を離れ、丈夫な建物などへ避難する。

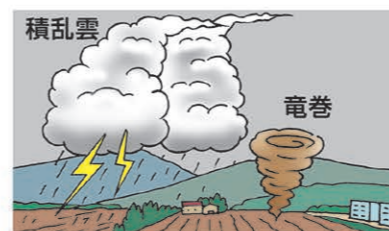
! 知る ~いざというとき、正しく判断するために

気象情報と危険状況

日頃から天気予報などを確認し、積乱雲が発生しやすい状況が把握しておきましょう。外出時の状況と行動をイメージしておくことが大切です。

積乱雲により起こる

大雨による急な増水や雷、竜巻が発生する可能性があります。



気象庁からの注意情報

竜巻注意情報

発生のおよ1時間前に発表
まさに竜巻の発生しやすい状況を注意喚起

空の様子に注意し、積乱雲の接近を感じたらすぐに安全な場所へ。

雷注意情報

発生のおよ数時間前に発表
落雷、ひょう、竜巻の情報による災害を注意喚起

外出前には最新の注意報を確認する。

🔧 備える ~被害をおさえるために

危険状況の把握

真っ黒い雲の接近、雷の音や光、冷風などは積乱雲が近づくサインです。



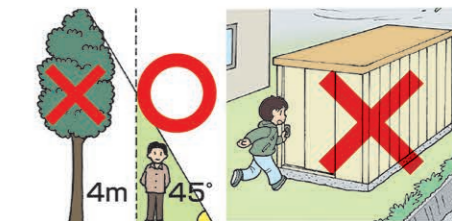
安全な場所の把握

頑丈な建物の1階、窓や壁から離れたところが安全です。



危険な場所の把握

木の下や公園など周囲の開けた場所は落雷のおそれがあり危険。竜巻の際は物置や車庫、プレハブの中は危険です。



🚶 避難する ~安全を確保するために

積乱雲の接近を感じたら、その場に留まらず、すぐに屋内に避難し身の安全を確保してください。

竜巻が起きたら

- 頑丈な建物の中へ避難する。
- 避難する場所がない場合は、物陰やくぼみの中へ。
- 屋内では中心部に近い窓のない部屋へ。
- 窓やカーテンを閉め、机の下に入り、頭を守る。

雷が起きたら

- 雷鳴が聞こえたらすぐ避難する。
- 建物の中や自動車の中へ避難する。
- 避難する場所がない場合は姿勢を低くする。

遠軽町の防災情報

遠軽町の避難所には、住民の皆さんに分かりやすく覚えていただくために、右のような看板を設置しています。



地震

地震は予測がつきにくく、いつ起こるかわからない災害と言えます。そのため、大地震が起きたときのことを想定し、屋内の安全を見直すなど日頃から備えておく必要があります。

被害を減らす心得 ▼チェックしましょう!

- ✓ 大地震による死亡原因の多くは家屋の倒壊です。家の耐震化や、壁・塀などの状況を見直し、補強対策を行いましょう。
- ✓ 家具の固定状況や配置、家の避難経路を確認し、倒壊の危険がないか見直しましょう。
- ✓ 揺れが起きたときにどのように行動すればよいか想定しておきましょう。

! 知る ~いざというとき、正しく判断するために

揺れの強さ

揺れの強さは震度で表されます。各震度の強さを知り、地震が起きたときの対処法を想定しましょう。

緊急地震速報(予報)		緊急地震速報(警報)		緊急地震速報(特別警報)		
震度3	震度4	震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7
大半の人が揺れに気づく	大半の人が揺れに驚く	大半の人が物につかまりたいと感じる	大半の人が行動に支障を感じる	立っていることが困難になる	這わないと動けない	動けず、飛ばされることもある

🔧 備える ~被害をおさえるために

家屋・室内の安全対策

被害をおさえるために家屋や屋内の点検をし、安全な環境をつくっておきましょう。

家の耐震化 耐震診断をし、必要があれば耐震化を行う。 	壁や塀の点検強化 ひび割れ・破損の有無を点検し、補強する。 	家具配置の見直し 倒れても安全なように、向きと配置を確認する。 	避難経路の確保 出入口、避難経路に家具を置かない。
棚・タンスの固定 L型金具などで壁の桎や柱に固定する。 	照明の固定 複数のチェーンで天井に止めて固定する。 	テレビの固定 粘着マットなどを使い、固定する。 	冷蔵庫の固定 上部を転倒防止用ベルトで固定する。

🚶 避難する ~安全を確保するために

地震の揺れを感じたら、どんな場所でも「あわてず、まず身を守る」ことが大切です。

地震発生

身の安全を確保

- 緊急地震速報
 - 最大震度5弱以上の揺れが予想されるとき、震度4以上の揺れが予想される地域に対して発表されます。テレビ・ラジオ・携帯電話などから入手することができます。発表から揺れが来るまで数秒から数十秒しかないため、速やかに身の安全を確保することが重要です。
 - ・ 頭を保護し、机やテーブルの下へ
 - ・ あわてず素早く火の始末
 - ・ 非常脱出口の確保

1~2分

揺れがおさまるのを待つ

- ・ 家族の安全確認
- ・ 非常持ち出し品を用意する
- ・ 火元を確認する
- ・ 靴をはく

3分

余震に注意

- ・ 周辺住民への声かけ

5分

正しい情報を集める

- ・ デマを信じない
- ・ 正確な情報を収集

10~15分

落ち着いて速やかに避難

- ・ 火災防止の為、ブレーカーをおとす
- ・ 山崩れ、がけ崩れ、津波に注意
- ・ 安全な避難経路の確認

半日~3日

避難後は助け合いの心で

- ・ 地域で協力して応急救護の体制を
- ・ 災害情報、被害情報の収集
- ・ 飲料水、食料の確保

停電時の備え

備え① 安全に避難するために

夜間の場合、出口がわからない、床の段差やガラスの破片が見えないなど、とても危険です。リビングや寝室などに懐中電灯や足元灯を備えましょう。

備え② 災害情報を確保するために

インターネットや携帯電話などを利用できないおそれがあり、情報を得ることが困難になります。ラジオや予備の電池を常備しておきましょう。

懐中電灯と足元灯を兼ね、停電や地震が起きた時に自動的に点灯するタイプが有効です。足元灯の設置が難しい階段などには、残光テープが効果的です。

停電時、屋内で救助を待つ場合や屋内での避難生活に備えて

家庭用医療機器等については必要な予備バッテリーを備え、停電時の電源の切り替え手順などを確認しておくことも必要です。

地震 危険度マップ

危険度マップとは、遠軽町に大きな影響を及ぼすと考える地震とその揺れの大きさを想定し、その地震によって地域の建物の被害がどの程度生じるかを示すマップです。「建物の構造や建設年次」をもとに、全半壊率を表示しています。

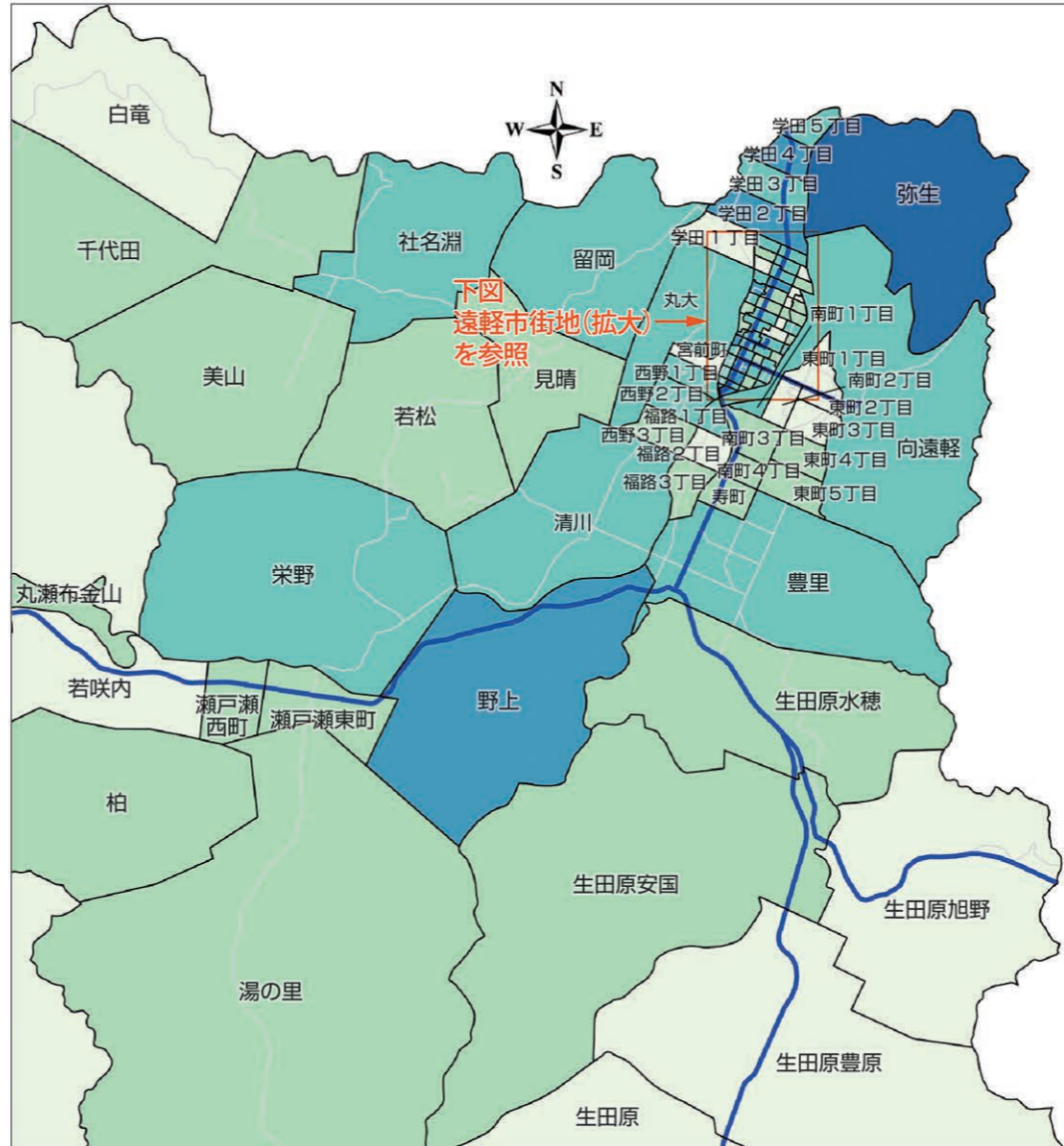
白滝地域



丸瀬布地域



遠軽地域



建物の被害想定—地域の「危険度マップ」

遠軽町に最も影響を及ぼすと想定される地震は「全国どこでも起こりうる直下の地震(遠軽町直下でのM6.9クラスの地震)」です。町内全域において6弱の揺れが予想されています。この揺れが起こった場合、建物がどの程度倒壊する可能性があるかを確認し、防災対策を立てる際の参考としてみてください。

遠軽町で想定される地震

●全国どこでも起こりうる直下の地震

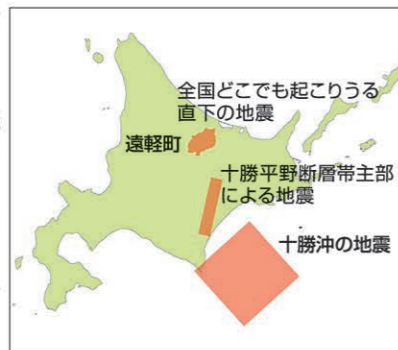
遠軽町直下での地震。M6.9クラスで、震度6弱を想定。

●十勝沖の地震

プレートの境界や内部で発生する地震。M8.1クラスで、震度4を想定。

●十勝平野断層帯主部による地震

活断層を震源とする地震。M8.0クラスで、震度5弱を想定。



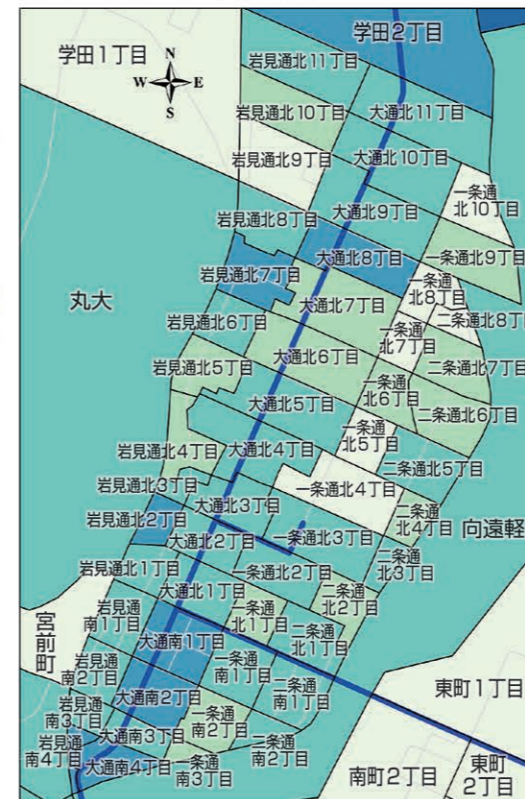
全半壊棟率 (直下型・冬)	棟数
10%以上	(1)
7 - 10%	(10)
5 - 7%	(38)
3 - 5%	(37)
3%未満	(41)

緊急輸送道路
第1次緊急輸送道路

生田原地域



【遠軽市街地(拡大)】



※建物全半壊率は、「平成27年度地震被害想定調査結果(平成29年2月北海道)」を参考に算定しています。

火災

日頃から火災を発生させないようにするとともに、万が一火災が発生したときに備え、対応を身につけましょう。

被害を減らす心得

▼チェックしましょう!

- 家のまわりにごみを置かない。
- 寝たばこ、ポイ捨てをしない。
- たき火や野焼きをしない。
- 火を使っている時はそばを離れない。
- ストープの周りにもものをおかない。
- コンセント周りをきれいにする。
- 住宅用火災警報器や消火器を設置する。

! 知る ~いざというとき、正しく判断するために

通報・初期消火・避難が原則です。ただし、逃げ遅れないことが何よりも大切です。

火災が発生したら

■早く知らせる

火災の発生を周囲に知らせ、小さな火でも必ず119番に通報する。



■初期消火

火が横へ広がっているうちは初期消火を。身近なものを利用して消火しましょう。



■避難する

火が天井まで広がったら避難。タオルなどで口や鼻を覆い、煙を吸わないよう姿勢を低くする。



消火器の使い方

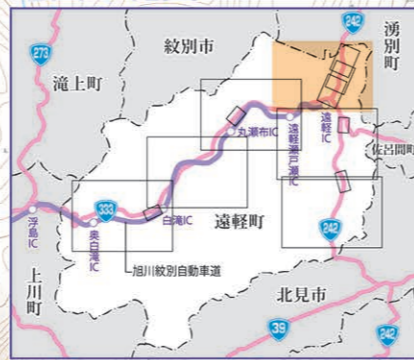
- 安全栓を引き抜く
- ホースをはずし火元に向ける
- レバーを強く握って火元に噴射する



自分の避難場所を確認する

遠軽地域 遠軽町防災マップ

地図の範囲



※浸水の恐れのある区域の表示は、指定時点の湧別川の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により湧別川が氾濫した場合の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。

地図の見方

防災施設の凡例	
	指定緊急避難場所兼指定避難所
	指定緊急避難場所
	福祉避難所
土砂災害のおそれのある箇所の凡例	
	土石流
	がけ崩れ
	地すべり
浸水するおそれのある区域の凡例	
	水の深さが10.0m～
	水の深さが5.0m～10.0m
	水の深さが3.0m～5.0m
	水の深さが1.0m～3.0m
	水の深さが0.5m～1.0m
	水の深さが0.0m～0.5m

着色された色の見方

	5.0m以上～10.0m未満	2階以上が浸水する高さ
	3.0m以上～5.0m未満	2階が浸水する高さ
	1.0m以上～3.0m未満	1階が浸水する高さ
	0.5m以上～1.0m未満	大人の腰の高さ
	0.5m未満	大人の膝下の高さ

※マップに着色された色は、それぞれの地点の最大浸水深を示しています。
 ※この図は標準的な建物の大きさと浸水深との関係を示しています。

あなたの避難所はどこ？

No.	施設名	所在地	電話番号 (0158)	災害区分			対象地区
				水	土	地	
	16 社名淵地域公民館	社名淵69-1	42-0147	◎	○	—	白竜・千代田・社名淵・美山・留岡・見晴の一部
	17 社名淵地域公民館広場	留岡163-3	—	◎	○	—	留岡
	18 留岡公民館	留岡163-3	—	◎	○	—	留岡
	45 道の駅 遠軽森のオホーツク	野上150-1	42-4536	◎	○	○	瀬戸瀬東町・瀬戸瀬西町・栄野・野上・湯の里・若咲内・柏
	46 野上公民館	野上49	—	◎	○	—	野上
	47 瀬戸瀬地域公民館	瀬戸瀬東町7	44-2052	◎	○	—	瀬戸瀬東町
	48 栄野会館	栄野404-1	—	◎	○	—	栄野

※災害ごとに避難可能な施設が異なります。「水→水害」「土→土砂災害」「地→地震災害」
 ※災害区分の水害で◎の付いている避難施設は、想定最大規模の降雨時にも利用可能な施設であることを示しています。
 (12時間総雨量283mm)

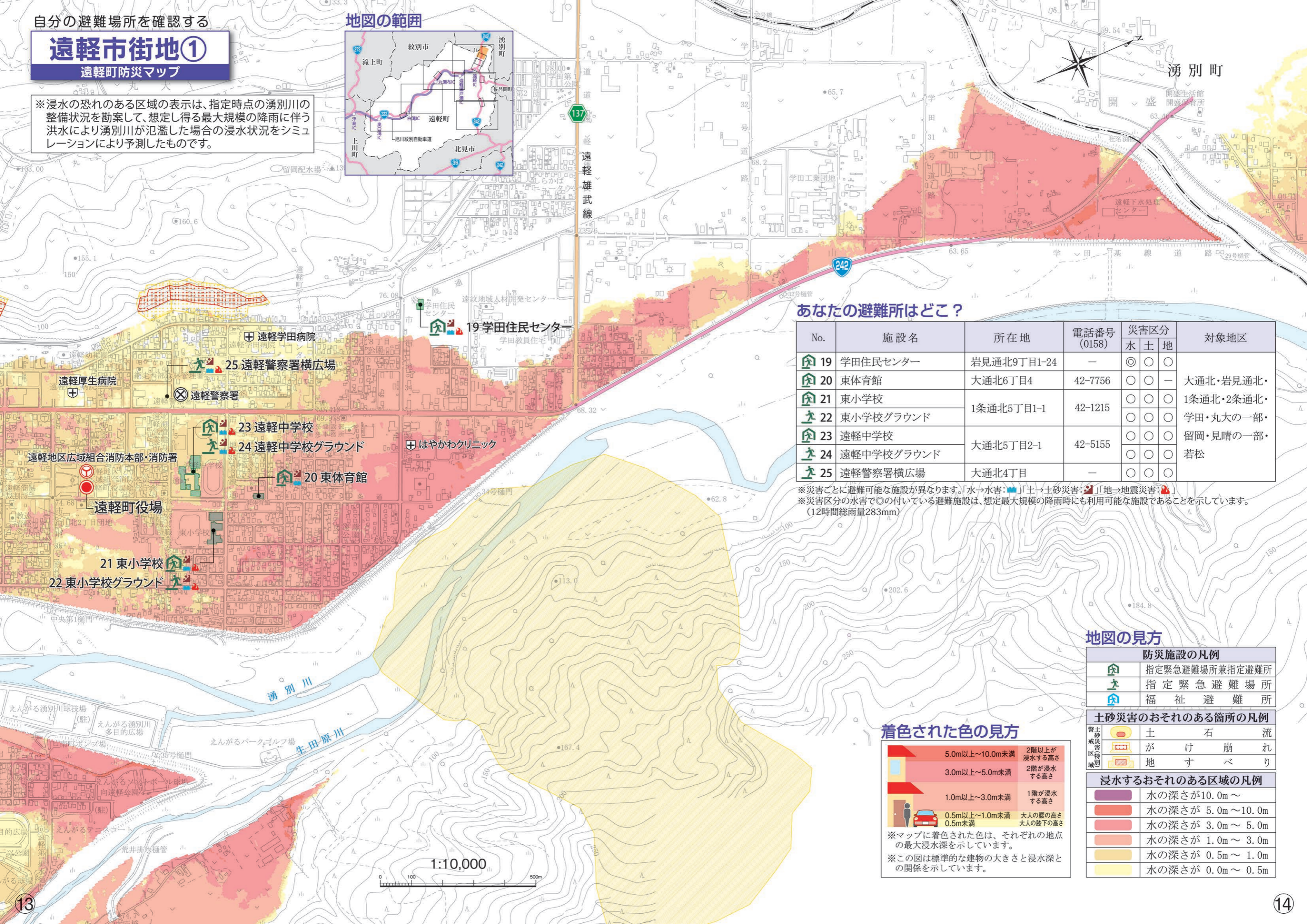
自分の避難場所を確認する

地図の範囲

遠軽市街地①

遠軽町防災マップ

※浸水の恐れのある区域の表示は、指定時点の湧別川の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により湧別川が氾濫した場合の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。



湧別町

あなたの避難所はどこ？

No.	施設名	所在地	電話番号 (0158)	災害区分			対象地区
				水	土	地	
19	学田住民センター	岩見通北9丁目1-24	—	◎	○	○	大通北・岩見通北・1条通北・2条通北・学田・丸大の一部・留岡・見晴の一部・若松
20	東体育館	大通北6丁目4	42-7756	○	○	—	
21	東小学校	1条通北5丁目1-1	42-1215	○	○	○	
22	東小学校グラウンド			○	○	○	
23	遠軽中学校	大通北5丁目2-1	42-5155	○	○	○	
24	遠軽中学校グラウンド			○	○	○	
25	遠軽警察署横広場			大通北4丁目	—	○	○

※災害ごとに避難可能な施設が異なります。「水→水害:」 「土→土砂災害:」 「地→地震災害:」
 ※災害区分の水害で◎の付いている避難施設は、想定最大規模の降雨時にも利用可能な施設であることを示しています。
 (12時間総雨量283mm)

地図の見方

防災施設の凡例

	指定緊急避難場所兼指定避難所
	指定緊急避難場所
	福祉避難所

土砂災害のおそれのある箇所

	土	石	流
	が	け	崩
	地	す	べ
	り		れ

浸水するおそれのある区域の凡例

	水の深さが10.0m～
	水の深さが5.0m～10.0m
	水の深さが3.0m～5.0m
	水の深さが1.0m～3.0m
	水の深さが0.5m～1.0m
	水の深さが0.0m～0.5m

着色された色の見方

	5.0m以上～10.0m未満	2階以上が浸水する高さ
	3.0m以上～5.0m未満	2階が浸水する高さ
	1.0m以上～3.0m未満	1階が浸水する高さ
	0.5m以上～1.0m未満	大人の腰の高さ
	0.5m未満	大人の膝下の高さ

※マップに着色された色は、それぞれの地点の最大浸水深を示しています。
 ※この図は標準的な建物の大きさと浸水深との関係を示しています。

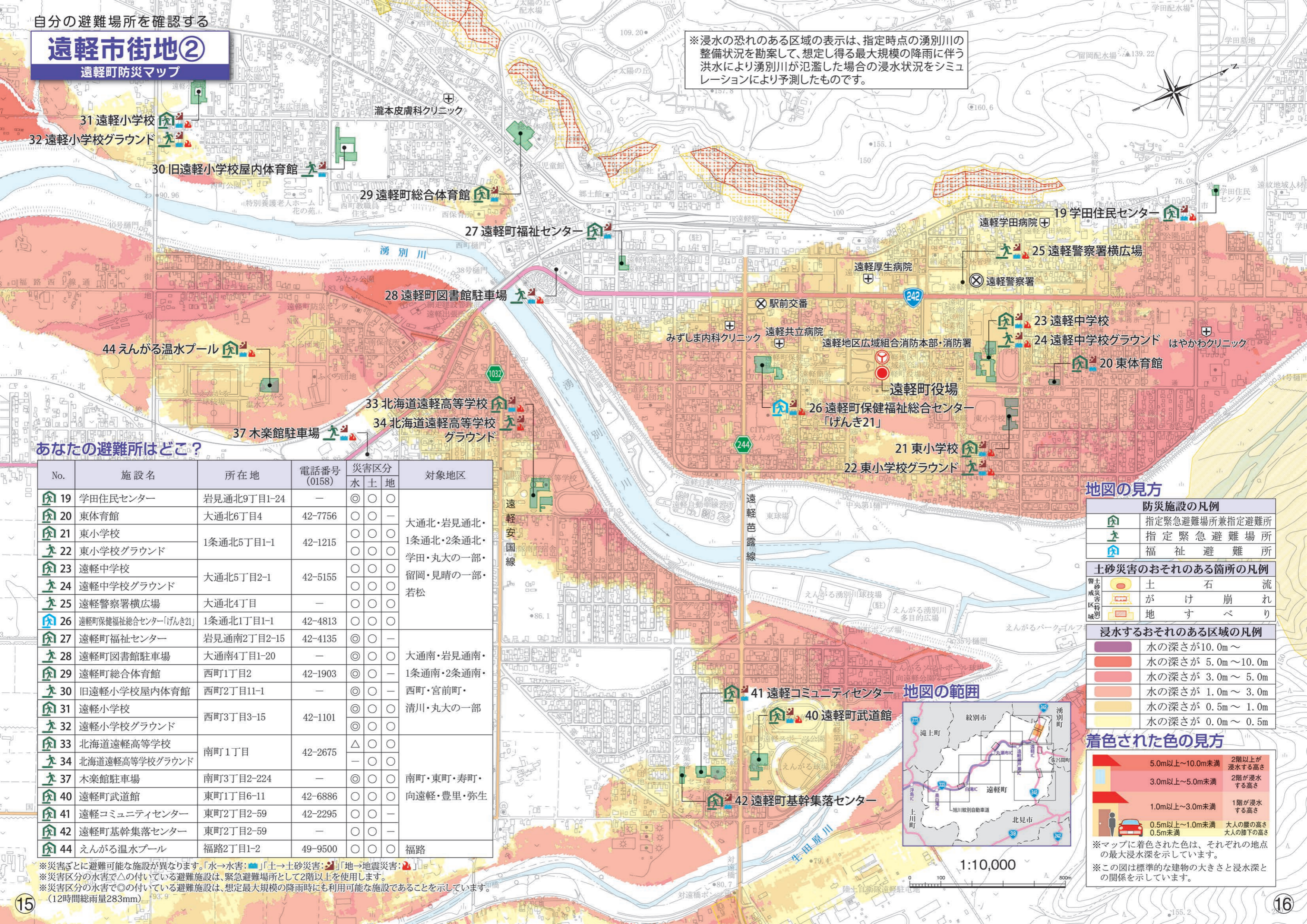


自分の避難場所を確認する

遠軽市街地②

遠軽町防災マップ

※浸水の恐れのある区域の表示は、指定時点の湧別川の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により湧別川が氾濫した場合の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。



あなたの避難所はどこ？

No.	施設名	所在地	電話番号 (0158)	災害区分 水 土 地	対象地区
19	学田住民センター	岩見通北9丁目1-24	—	◎ ○ ○	
20	東体育館	大通北6丁目4	42-7756	○ ○ —	大通北・岩見通北
21	東小学校	1条通北5丁目1-1	42-1215	○ ○ ○	1条通北・2条通北・学田・丸大の一部
22	東小学校グラウンド				
23	遠軽中学校	大通北5丁目2-1	42-5155	○ ○ ○	留岡・見晴の一部・若松
24	遠軽中学校グラウンド				
25	遠軽警察署横広場	大通北4丁目	—	○ ○ ○	
26	遠軽町保健福祉総合センター「げんき21」	1条通北1丁目1-1	42-4813	○ ○ ○	
27	遠軽町福祉センター	岩見通南2丁目2-15	42-4135	◎ ○ —	
28	遠軽町図書館駐車場	大通南4丁目1-20	—	◎ ○ ○	大通南・岩見通南
29	遠軽町総合体育館	西町1丁目2	42-1903	◎ ○ —	1条通南・2条通南
30	旧遠軽小学校屋内体育館	西町2丁目11-1	—	◎ ○ —	西町・宮前町
31	遠軽小学校	西町3丁目3-15	42-1101	◎ ○ ○	清川・丸大の一部
32	遠軽小学校グラウンド				
33	北海道遠軽高等学校	南町1丁目	42-2675	△ ○ ○	
34	北海道遠軽高等学校グラウンド				
37	木楽館駐車場	南町3丁目2-224	—	◎ ○ ○	南町・東町・寿町
40	遠軽町武道館	東町1丁目6-11	42-6886	○ ○ ○	向遠軽・豊里・弥生
41	遠軽コミュニティセンター	東町2丁目2-59	42-2295	○ ○ —	
42	遠軽町基幹集落センター	東町2丁目2-59	—	○ ○ —	
44	えんがる温水プール	福路2丁目1-2	49-9500	○ ○ ○	福路

※災害ごとに避難可能な施設が異なります。「水→水害:」 「土→土砂災害:」 「地→地震災害:」
 ※災害区分の水害で△の付いている避難施設は、緊急避難場所として2階以上を使用します。
 ※災害区分の水害で◎の付いている避難施設は、想定最大規模の降雨時にも利用可能な施設であることを示しています。
 (12時間総雨量283mm)

地図の見方

防災施設の凡例	
	指定緊急避難場所兼指定避難所
	指定緊急避難場所
	福祉避難所

土砂災害のおそれのある箇所の凡例	
	土 石 流
	が け 崩 れ
	地 す べ り

浸水するおそれのある区域の凡例	
	水の深さが10.0m～
	水の深さが5.0m～10.0m
	水の深さが3.0m～5.0m
	水の深さが1.0m～3.0m
	水の深さが0.5m～1.0m
	水の深さが0.0m～0.5m

着色された色の見方

	5.0m以上～10.0m未満	2階以上が浸水する高さ
	3.0m以上～5.0m未満	2階が浸水する高さ
	1.0m以上～3.0m未満	1階が浸水する高さ
	0.5m以上～1.0m未満	大人の壁の高さ
	0.5m未満	大人の膝の高さ

※マップに着色された色は、それぞれの地点の最大浸水深を示しています。
 ※この図は標準的な建物の大きさと浸水深との関係を示しています。

地図の範囲



1:10,000

自分の避難場所を確認する

遠軽市街地③

遠軽町防災マップ

地図の見方

	指定緊急避難場所兼指定避難所
	指定緊急避難場所
	福祉避難所

	土石流がけ崩れ
	地すべり

	水の深さが10.0m～
	水の深さが5.0m～10.0m
	水の深さが3.0m～5.0m
	水の深さが1.0m～3.0m
	水の深さが0.5m～1.0m
	水の深さが0.0m～0.5m

着色された色の見方

	2階以上が浸水する高さ
	2階が浸水する高さ
	1階が浸水する高さ
	大人の腰の高さ
	大人の膝下の高さ

※マップに着色された色は、それぞれの地点の最大浸水深を示しています。
 ※この図は標準的な建物の大きさと浸水深との関係を示しています。

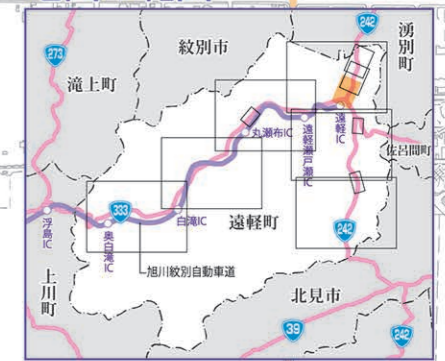
※浸水の恐れのある区域の表示は、指定時点の湧別川の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により湧別川が氾濫した場合の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。

あなたの避難所はどこ？

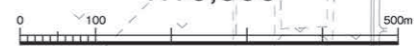
No.	施設名	所在地	電話番号(0158)	災害区分			対象地区
				水	土	地	
28	遠軽町図書館駐車場	大通南4丁目1-20	—	◎	○	○	大通南・岩見通南・1条通南・2条通南・西町・宮前町・清川・丸大の一部
29	遠軽町総合体育館	西町1丁目2	42-1903	◎	○	—	
30	旧遠軽小学校屋内体育館	西町2丁目11-1	—	◎	○	—	
31	遠軽小学校	西町3丁目3-15	42-1101	◎	○	○	
32	遠軽小学校グラウンド	西町3丁目3-15	—	◎	○	○	
33	北海道遠軽高等学校	南町1丁目	42-2675	△	○	○	
34	北海道遠軽高等学校グラウンド	南町1丁目	—	—	○	○	
35	南小学校	南町3丁目4-43	42-1234	◎	○	○	南町・東町・寿町・向遠軽・豊里・弥生
36	南小学校グラウンド	南町3丁目4-43	—	◎	○	○	
37	木楽館駐車場	南町3丁目2-224	—	◎	○	○	
38	南中学校	東町5丁目4-82	42-3175	◎	○	○	
39	南中学校グラウンド	東町5丁目4-82	—	◎	○	○	
43	豊里体育館	豊里240-2	42-5600	◎	○	○	
44	えんがる温水プール	福路2丁目1-2	49-9500	○	○	○	福路

※災害ごとに避難可能な施設が異なります。「水→水害：◎」「土→土砂災害：△」「地→地震災害：◎」
 ※災害区分の水害で△の付いている避難施設は、緊急避難場所として2階以上を使用します。
 ※災害区分の水害で◎の付いている避難施設は、想定最大規模の降雨時にも利用可能な施設であることを示しています。
 (12時間総雨量283mm)

地図の範囲



1:10,000



自分の避難場所を確認する

遠軽・生田原地域

遠軽町防災マップ

地図の範囲



地図の見方

防災施設の凡例	
	指定緊急避難場所兼指定避難所
	指定緊急避難場所
	福祉避難所

土砂災害のおそれのある箇所の凡例	
	土石流
	がけ崩れ
	地すべり

浸水するおそれのある区域の凡例	
	水の深さが10.0m～
	水の深さが5.0m～10.0m
	水の深さが3.0m～5.0m
	水の深さが1.0m～3.0m
	水の深さが0.5m～1.0m
	水の深さが0.0m～0.5m

着色された色の見方

	5.0m以上～10.0m未満	2階以上が浸水する高さ
	3.0m以上～5.0m未満	2階が浸水する高さ
	1.0m以上～3.0m未満	1階が浸水する高さ
	0.5m以上～1.0m未満	大人の腰の高さ
	0.5m未満	大人の膝下の高さ

※マップに着色された色は、それぞれの地点の最大浸水深を示しています。
 ※この図は標準的な建物の大きさと浸水深との関係を示しています。

※災害ごとに避難可能な施設が異なります。「水→水害」：「土→土砂災害」：「地→地震災害」
 ※災害区分の水害で○の付いている避難施設は、想定最大規模の降雨時にも利用可能な施設であることを示しています。
 (12時間総雨量372mm)

湧別町



安国公民館

P30参照

- 安国中学校
- 安国中学校グラウンド
- 生田原女性・若者等活動促進施設「かぜる安国」

- 安国小学校
- 安国小学校グラウンド

生田原川

佐呂間町

※浸水の恐れのある区域の表示は、指定時点の生田原川の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により生田原川が氾濫した場合の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。

木のおもちゃワールド館「ちゃちゃワールド」

生田原総合支所

P29・30参照

1:35,000



自分の避難場所を確認する

生田原地域

遠軽町防災マップ

※浸水の恐れのある区域の表示は、指定時点の生田原川の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により生田原川が氾濫した場合の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。

生田原総合支所

生田原小学校
生田原小学校グラウンド

生田原集会施設「かぜる西」

P29・30参照

生田原中学校
生田原中学校グラウンド

地図の見方

防災施設の凡例	
	指定緊急避難場所兼指定避難所
	指定緊急避難場所
	福祉避難所
土砂災害のおそれのある箇所の凡例	
	土石流
	がけ崩れ
	地すべり
浸水するおそれのある区域の凡例	
	水の深さが10.0m～
	水の深さが5.0m～10.0m
	水の深さが3.0m～5.0m
	水の深さが1.0m～3.0m
	水の深さが0.5m～1.0m
	水の深さが0.0m～0.5m

着色された色の見方

	5.0m以上～10.0m未満	2階以上が浸水する高さ
	3.0m以上～5.0m未満	2階が浸水する高さ
	1.0m以上～3.0m未満	1階が浸水する高さ
	0.5m以上～1.0m未満	大人の腰の高さ
	0.5m未満	大人の膝下の高さ

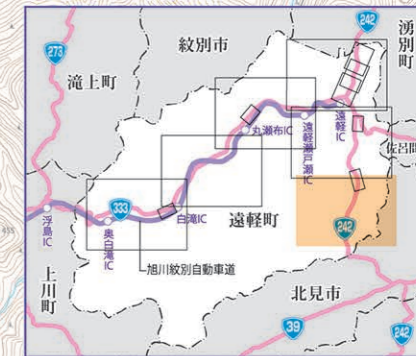
※マップに着色された色は、それぞれの地点の最大浸水深を示しています。
※この図は標準的な建物の大きさと浸水深との関係を示しています。

あなたの避難所はどこ？

No.	施設名	所在地	電話番号(0158)	災害区分			対象地区
				水	土	地	
12	生田原宿泊研修施設「キララン清里」	生田原清里956	45-2330	◎	○	—	清里
13	キララン清里グラウンド			◎	○	○	

※災害ごとに避難可能な施設が異なります。「水→水害：◎」「土→土砂災害：○」「地→地震災害：△」
※災害区分の水害で◎の付いている避難施設は、想定最大規模の降雨時にも利用可能な施設であることを示しています。
(12時間総雨量372mm)

地図の範囲



北見市

1:35,000

0 500 1000 2000m

自分の避難場所を確認する

遠軽・丸瀬布地域

遠軽町防災マップ

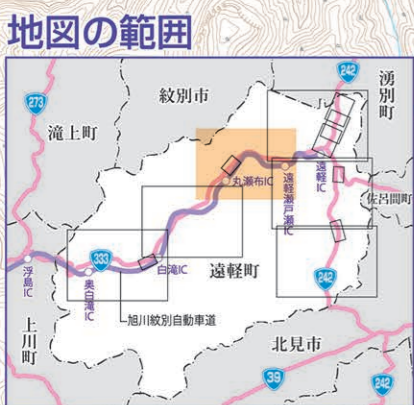
※浸水の恐れのある区域の表示は、指定時点の湧別川の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により湧別川が氾濫した場合の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。

あなたの避難所はどこ？

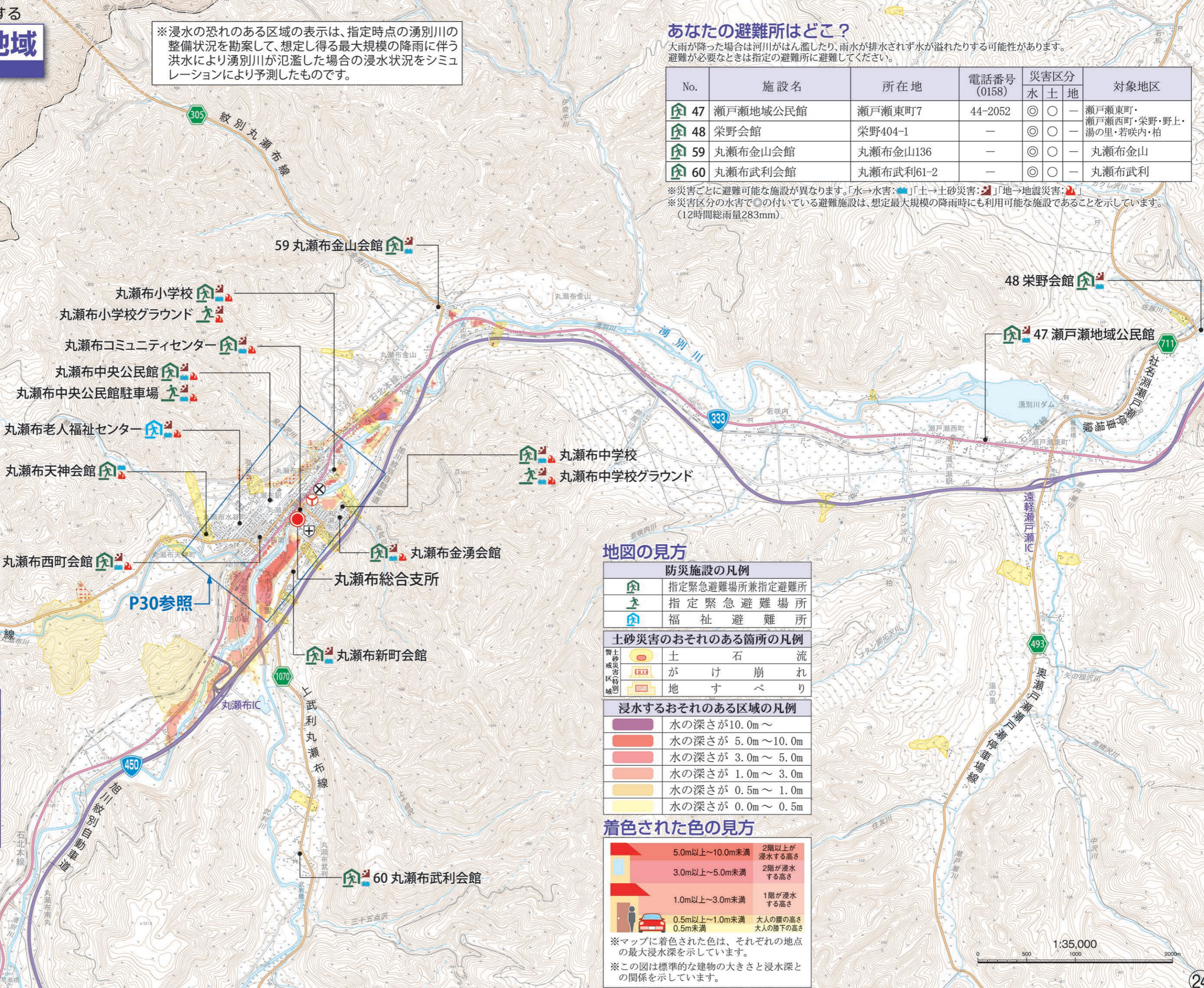
大雨が降った場合は河川がはん濫したり、雨水が排水されず水が溢れたりする可能性があります。避難が必要なときは指定の避難所に避難してください。

No.	施設名	所在地	電話番号 (0158)	災害区分			対象地区
				水	土	地	
47	瀬戸瀬地域公民館	瀬戸瀬東町7	44-2052	◎	○	—	瀬戸瀬東町・ 瀬戸瀬西町・栄野・野上・ 湯の里・若咲内・柏
48	栄野会館	栄野404-1	—	◎	○	—	丸瀬布金山
59	丸瀬布金山会館	丸瀬布金山136	—	◎	○	—	丸瀬布武利
60	丸瀬布武利会館	丸瀬布武利61-2	—	◎	○	—	

※災害ごとに避難可能な施設が異なります。「水→水害」「土→土砂災害」「地→地震災害」
※災害区分の水害で◎の付いている避難施設は、想定最大規模の降雨時にも利用可能な施設であることを示しています。
(12時間総雨量283mm)



地図の範囲



地図の見方

防災施設の凡例

- 指定緊急避難場所兼指定避難所
- 指定緊急避難場所
- 福祉避難所

土砂災害のおそれのある箇所の凡例

- 土石流
- がけ崩れ
- 地すべり

浸水するおそれのある区域の凡例

- 水の深さが10.0m～
- 水の深さが5.0m～10.0m
- 水の深さが3.0m～5.0m
- 水の深さが1.0m～3.0m
- 水の深さが0.5m～1.0m
- 水の深さが0.0m～0.5m

着色された色の見方

- 5.0m以上～10.0m未満: 2階以上が浸水する高さ
- 3.0m以上～5.0m未満: 2階が浸水する高さ
- 1.0m以上～3.0m未満: 1階が浸水する高さ
- 0.5m以上～1.0m未満: 大人の腰の高さ
- 0.5m未満: 大人の膝下の高さ

※マップに着色された色は、それぞれの地点の最大浸水深を示しています。
※この図は標準的な建物の大きさと浸水深との関係を示しています。



1:35,000

自分の避難場所を確認する

丸瀬布・白滝地域

遠軽町防災マップ

あなたの避難所はどこ？

大雨が降った場合は河川が氾濫したり、雨水が排水されず水が溢れたりする可能性があります。避難が必要なときは指定の避難所に避難してください。

No.	施設名	所在地	電話番号 (0158)	災害区分			対象地区
				水	土	地	
60	丸瀬布武利会館	丸瀬布武利61-2	—	◎	○	—	丸瀬布武利
61	丸瀬布上武利集会所	丸瀬布上武利206-3	—	◎	○	○	丸瀬布上武利
64	丸瀬布農村集落多目的共同利用施設	丸瀬布上武利53	—	◎	—	—	

※災害ごとに避難可能な施設が異なります。「水→水害:」 「土→土砂災害:」 「地→地震災害:」
 ※災害区分の水害で◎の付いている避難施設は、想定最大規模の降雨時にも利用可能な施設であることを示しています。
 (12時間総雨量283mm)

※浸水の恐れのある区域の表示は、湧別川の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により湧別川が氾濫した場合の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。

60 丸瀬布武利会館

64 丸瀬布農村集落多目的共同利用施設

61 丸瀬布上武利集会所

地図の見方

防災施設の凡例

	指定緊急避難場所兼指定避難所
	指定緊急避難場所
	福祉避難所

土砂災害のおそれのある箇所の凡例

	土砂災害警戒区域(特別警戒区域)
	土石流
	がけ崩れ
	地すべり

浸水するおそれのある区域の凡例

	水の深さが10.0m～
	水の深さが5.0m～10.0m
	水の深さが3.0m～5.0m
	水の深さが1.0m～3.0m
	水の深さが0.5m～1.0m
	水の深さが0.0m～0.5m

着色された色の見方

	5.0m以上～10.0m未満	2階以上が浸水する高さ
	3.0m以上～5.0m未満	2階が浸水する高さ
	1.0m以上～3.0m未満	1階が浸水する高さ
	0.5m以上～1.0m未満	大人の腰の高さ
	0.5m未満	大人の膝下の高さ

※マップに着色された色は、それぞれの地点の最大浸水深を示しています。
 ※この図は標準的な建物の大きさと浸水深との関係を示しています。

地図の範囲



- 白滝ふれあいセンター
- 白滝総合支所駐車場
- 白滝国際交流センター
- 白滝総合支所

P29参照

1:35,000

自分の避難場所を確認する

白滝地域

遠軽町防災マップ

あなたの避難所はどこ？

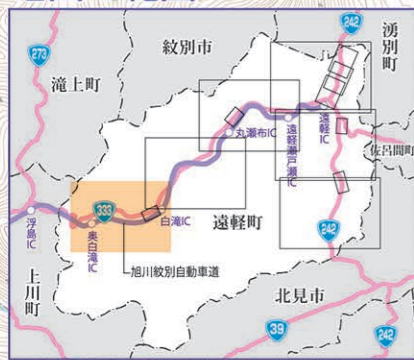
大雨が降った場合は河川がはん濫したり、雨水が排水されず水が溢れたりする可能性があります。避難が必要なときは指定の避難所に避難してください。

No.	施設名	所在地	電話番号 (0158)	災害区分			対象地区
				水	土	地	
70	上白滝会館	上白滝167	—	◎	○	—	上白滝・東白滝・
71	旧三和小中学校グラウンド	上白滝202	—	◎	○	○	奥白滝・天狗平
72	支湧別産業会館	白滝支湧別93-1	—	◎	○	—	白滝北支湧別・ 白滝支湧別
73	上支湧別農作業準備休憩施設「こまくさ」	白滝上支湧別511-1	48-2738	◎	○	○	白滝支湧別・
74	上支湧別農作業準備休憩施設前広場		—	◎	○	○	白滝上支湧別

※災害ごとに避難可能な施設が異なります。「水→水害: 水」「土→土砂災害: 土」「地→地震災害: 地」
※災害区分の水害で◎の付いている避難施設は、想定最大規模の降雨時にも利用可能な施設であることを示しています。
(12時間総雨量283mm)

※浸水の恐れのある区域の表示は、湧別川の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により湧別川が氾濫した場合の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。

地図の範囲



地図の見方

防災施設の凡例	
	指定緊急避難場所兼指定避難所
	指定緊急避難場所
	福祉避難所

土砂災害のおそれのある箇所の凡例	
	土 石 流
	が け 崩 れ
	地 す べ り

浸水するおそれのある区域の凡例	
	水の深さが10.0m～
	水の深さが5.0m～10.0m
	水の深さが3.0m～5.0m
	水の深さが1.0m～3.0m
	水の深さが0.5m～1.0m
	水の深さが0.0m～0.5m

着色された色の見方	
	5.0m以上～10.0m未満 2階以上が浸水する高さ
	3.0m以上～5.0m未満 2階が浸水する高さ
	1.0m以上～3.0m未満 1階が浸水する高さ
	0.5m以上～1.0m未満 大人の腰の高さ
	0.5m未満 大人の膝下の高さ

※マップに着色された色は、それぞれの地点の最大浸水深を示しています。
※この図は標準的な建物の大きさと浸水深との関係を示しています。

1:35,000

自分の避難場所を確認する

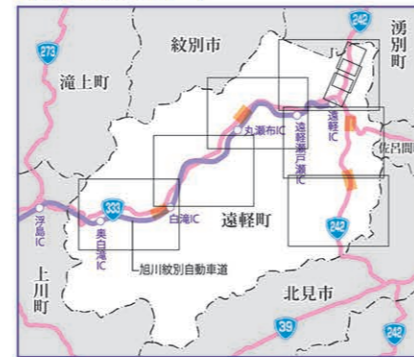


あなたの避難所はどこ？

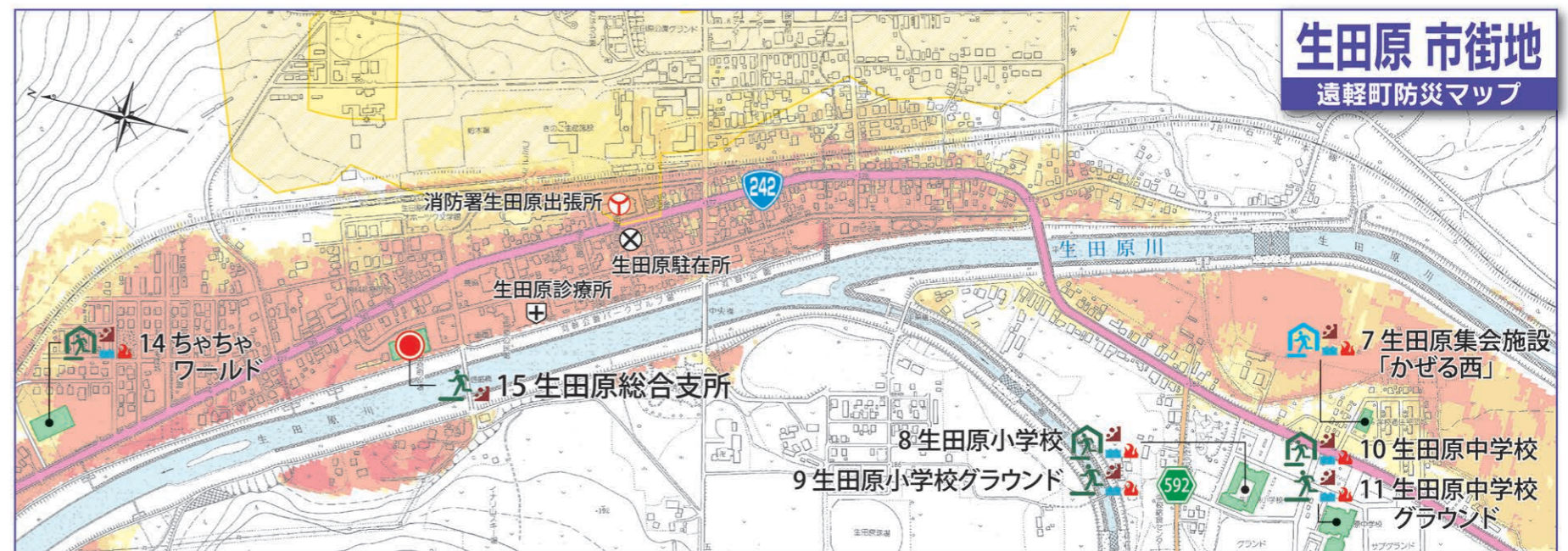
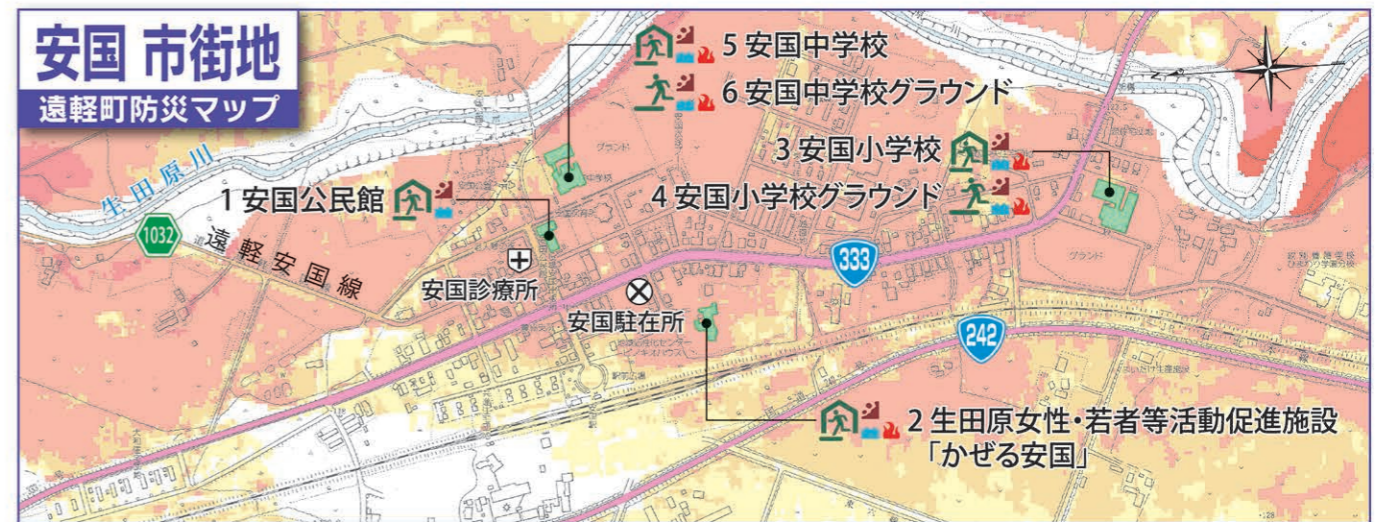
No.	施設名	所在地	電話番号 (0158)	災害区分			対象地区
				水	土	地	
1	安国公民館	生田原安国32	46-2302	○	○	—	水穂・安国・ 旭野・豊原
2	生田原女性・若者等活動促進施設「かぜる安国」	生田原安国84-1	46-2211	○	○	○	
3	安国小学校	生田原安国271-1	46-2117	○	○	○	
4	安国小学校グラウンド			○	○	○	
5	安国中学校	生田原安国22-1	46-2412	○	○	○	
6	安国中学校グラウンド			○	○	○	
7	生田原集会施設「かぜる西」	生田原668-1	45-2527	○	○	○	生田原・岩戸・ 八重・伊吹
8	生田原小学校	生田原710-1	45-2252	◎	○	○	
9	生田原小学校グラウンド			◎	○	○	
10	生田原中学校	生田原712	45-2335	◎	○	○	
11	生田原中学校グラウンド			◎	○	○	
14	ちゃちゃワールド	生田原143-4	49-4022	○	○	○	
15	生田原総合支所	生田原339-1	45-2011	—	○	—	生田原
49	丸瀬布小学校	丸瀬布東町113	47-2070	◎	○	○	
50	丸瀬布小学校グラウンド			—	○	○	丸瀬布東町
51	丸瀬布コミュニティセンター	丸瀬布中町115-1	47-2121	◎	○	○	
52	丸瀬布中学校	丸瀬布新町78	47-2374	◎	○	○	丸瀬布新町・ 丸瀬布水谷町・ 丸瀬布天神町・ 丸瀬布上丸
53	丸瀬布中学校グラウンド			◎	○	○	
54	丸瀬布新町会館	丸瀬布新町397-3	—	◎	○	—	
55	丸瀬布金湧会館	丸瀬布新町95	—	◎	○	○	
56	丸瀬布天神会館	丸瀬布水谷町142-1	—	◎	—	○	
57	丸瀬布老人福祉センター	丸瀬布水谷町68-6	47-3110	◎	○	○	
58	丸瀬布西町会館	丸瀬布西町3-2	—	◎	○	○	丸瀬布西町
62	丸瀬布中央公民館	丸瀬布水谷町12-3	47-2456	◎	○	○	
63	丸瀬布中央公民館駐車場			◎	○	○	丸瀬布水谷町
65	白滝国際交流センター	白滝138-1	48-2213	◎	○	○	
66	白滝総合支所駐車場		48-2211	◎	○	○	
67	白滝ふれあいセンター	白滝600	—	○	○	○	
68	白滝中学校	白滝942-1	48-2047	◎	○	—	
69	白滝中学校グラウンド			◎	○	○	

※災害ごとに避難可能な施設が異なります。「水→水害：」 「土→土砂災害：」 「地→地震災害：」
 ※災害区分の水害で◎の付いている避難施設は、想定最大規模の降雨時にも利用可能な施設であることを示しています。
 (12時間総雨量283mm)

地図の範囲



1:10,000



ご家族のみなさんで話し合い、書き込んでおきましょう。

集合場所 家族、ご近所さんと決めましょう!

避難所 地図ページで確認しましょう!

家族・親戚・知人の連絡先・避難先

氏名	生年月日	血液型	既往症	会社・学校(電話番号など)	避難先

医療機関など

病院名	電話番号	機関名	電話番号

火災・救急の時は緊急通報

☎119

落ち着いて、次の4つのことを伝えてください。

- 1.火災か救急か
- 2.住所や場所の目安
- 3.詳しい状況
- 4.通報者の名前・連絡先

災害時の連絡は「災害用伝言ダイヤル」で!

☎171

災害発生時に利用できます。「171」後はガイダンスに従って録音・再生を!

録音) 171+1+自分の家の電話番号(市外局番から)

再生) 171+2+自分の家の電話番号(市外局番から)

遠軽町の防災情報は「えんがる防災情報メール」で!

bousai.engaru-town@v-vnet.jp

あらかじめ登録された携帯電話等のメールに防災情報を配信するサービスです。

詳しくは「遠軽町ホームページ⇒防災⇒えんがる防災情報メールの登録」をクリックしてください。

登録には、右のコードを読み取り空メールを送信してください。



土砂災害・洪水などの災害情報は「北海道防災ポータル」

<https://www.bousai-hokkaido.jp>

北海道の防災情報などがわかります。

詳しくは「北海道防災ポータルホームページ」で知りたい項目をクリックしてください。

右のコードから携帯サイトにアクセスできます。



遠軽町の過去の災害

平成28年台風に伴う各地域の大雨被害の様子



遠軽地域



生田原地域



丸瀬布地域



白滝地域



この冊子は公益財団法人北海道市町村振興協会(サマージャンボ宝くじの収益金)の助成を受けて作成しています。

このガイドマップの作成に当たっては、国地理院長の承認を得ている。
「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 3JHs 338」